

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4502
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	菊池寛顕彰事業			

【事業全体概要】

事業概要	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰するとともに、文学展及び文芸講座等の文化活動事業を実施し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。また、香川菊池寛賞等の選奨を行うことにより、郷土において創作活動を続けている優れた新人の発掘及び育成並びに地元の文化の振興を図る。				
年度概要	・文芸講座の開催 ・特別講演会の開催 ・香川菊池寛賞募集選奨事業 ・文藝もずの発行				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

【事業の目的】

対象（何を）	市民（小学生から高齢者）
意図（どのような状態にしたいか）	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。また、郷土において創作活動が続けている優れた新人の発掘及び育成並びに地元の文化の振興を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	開催講座数（文芸講座）	講座	0	0	10	8	10
②	文学展開催日数（文学展）	日	0	0	33	0	0

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
受講延べ人数	人	目標値	0	0	600	480	600
		実績値	0	0	622		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
文芸講座は、大河ドラマ等トレンドを意識した講師選定や、高校生・大学生等、新たな利用者層を意識したテーマ設定が功を奏し、年間の受講延べ人数が目標値を上回った。		(目標達成度)	103.7%				
		(得点)	35点				

Year	Value
R 2	0
R 3	0
R 4	0
R 5	0
R 6	622
R 7	480
R 8	600
R 9	600

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
文学展観覧者数（文学展、特別講演会等）	人	目標値	0	0	2,000	0	0
		実績値	0	0	2,828		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
文学展では、長谷川町子の貴重な直筆原稿や原画を展示するとともに、当時の雑誌文化、菊池寛と長谷川町子、長谷川家との関わりを紹介した。市内だけでなく、市外・県外からの観覧者も多く、子供連れや若いカップル、3世代での来場など、幅広い層が来館し、観覧者数が目標値を上回る結果となった。		(目標達成度)	141.4%				
		(得点)	35点				

Year	Value
R 2	0
R 3	0
R 4	0
R 5	0
R 6	2828
R 7	0
R 8	0
R 9	0

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	12,662	12,531	12,926	11,193
	(事業費)	5,178	5,004	5,206	3,473
	(職員人件費)	7,484	7,527	7,720	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・文芸講座及び読書感想文講座の開催 ・文学展及び特別講演会の開催 ・香川菊池寛賞募集選奨事業 ・文藝もずの発行 ・サンクリスタル学習の実施	菊池寛顕彰事業実行委員会負担金（文学展、香川菊池寛賞、特別講演会等）4,316千円 文藝もず作成321千円 菊池寛顕彰会事業補助金277千円 その他運営事務費292千円	総額	5,206	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	284
一般財源	4,922				
令和 7 年度	・文芸講座の開催 ・特別講演会の開催 ・香川菊池寛賞募集選奨事業 ・文藝もずの発行	菊池寛顕彰事業実行委員会負担金（香川菊池寛賞、特別講演会等）2,544千円 文藝もず作成329千円 菊池寛顕彰会事業補助金277千円 その他運営事務費323千円	総額	3,473	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	362
一般財源	3,111				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
文芸講座参加者数については、講師・テーマの選定が好評であり、実績値は昨年より増加し、目標値を超えている。文学展等観覧者数についても、市外・県外、親子連れ等幅広い層が観覧に訪れ、実績値は目標値を超えている。 SNS等の活用を積極的に行うなど、より多くの市民や幅広い年齢の方に、菊池寛や文学への関心を持ってもらえるよう努めたが、更なる周知について引き続き注力していく。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
施設のリニューアル工事に伴い、令和7年5月から休館となるが、特別講演会や文芸講座などの事業は継続して実施する。また、休館中においても、SNS等を活用し、より多くの市民、県民等に菊池寛や文学への興味や親しみを持ってもらえるよう積極的に情報発信する。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4502
	取組方針	「アート・シティ高松」の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	菊池寛記念館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、保管及び展示を行い、後世に伝えとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。				
年度概要	・菊池寛や芥川賞・直木賞等に関する資料の収集・保管及び展示 ・「出張！菊池寛記念館」 ・菊池寛記念館リニューアル後の企画等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

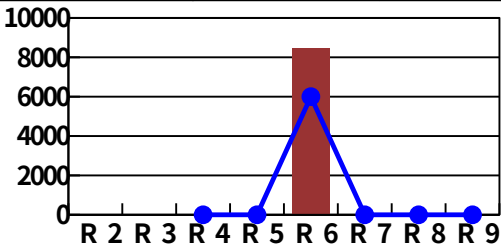
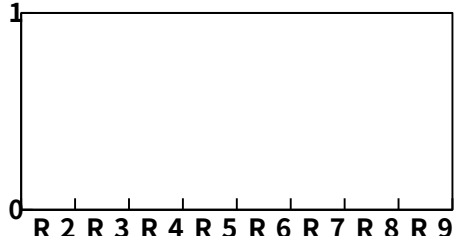
【事業の目的】

対象（何を）	市民（小学生から高齢者）
意図（どのような状態にしたいか）	郷土が生んだ文豪「菊池寛」を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	菊池寛記念館開館日数	日	0	0	307	0	0
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	菊池寛記念館利用者数（常設展、コレクション展）	人	目標値 実績値	0 0	0 0	6,000 8,477	0	0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	文芸講座や文学展観覧者数が好調であり、記念館にも足を運ぶ観覧者が多かったことや、年間を通じ、魅力あるテーマでコレクション展を企画する等取り組み、利用者数は目標値を上回った。			(目標達成度) 141.3%				
				(得点) 35点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	22,276	23,203	26,457	24,649
	(事業費)	14,792	15,676	18,737	16,929
	(職員人件費)	7,484	7,527	7,720	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・菊池寛記念館常設展示 ・菊池寛や芥川賞・直木賞等に関する資料の収集・保管及び展示 ・菊池寛記念館A V機器等保守点検	会計年度任用職員報酬等 17,630千円 記念館資料購入費128千円 展示パネル制作委託等 23千円 A V機器等保守点検委託 220千円 その他運営事務費736千円	総額	18,737	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	249
一般財源	18,488				
令和 7 年度	・菊池寛や芥川賞・直木賞等に関する資料の収集・保管及び展示 ・「出張！菊池寛記念館」 ・菊池寛記念館リニューアル後の企画等	会計年度任用職員報酬等 15,752千円 記念館資料購入費153千円 出張展示用タペストリー等製作業務委託155千円 その他運営事務費869千円	総額	16,929	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	20
一般財源	16,909				

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
文学展や文芸講座の観覧者が増加し、記念館も併せて観覧するケースが増えたとともに、年間を通じ、魅力あるテーマでコレクション展を企画する等取り組み、利用者数は目標値を上回った。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
施設のリニューアル工事に伴い、令和7年5月から休館となるが、引き続き、関連資料の収集及び整理並びに菊池寛の魅力発見に努めるとともに、新たに「出張！菊池寛記念館」として、小学校や県内の図書館等でパネル展を実施するなど、菊池寛及び菊池寛記念館を市民、県民等に広く周知する。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-2714
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 12年度
	事務事業	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	国指定史跡石清尾山古墳群は積石塚として全国に知られているが、築造から長い年月を経て積石の崩れなど傷みが進行している。また、史跡指定された古墳上に石棺が露出するなど、特に古墳群の保存において喫緊の課題が山積みしている。本事業では、まず史跡既指定古墳について、適切な保存・活用を行うための基本方針を定める保存活用計画によって、保存と活用の両面から適切な史跡整備を行うものである。加えて、史跡に指定されていない古墳の調査研究を進めて史跡に追加指定し歴史的価値を顕在化させ、古墳群の適切な保存・活用を図ることを目標に事業を進めるものである。				
年度概要	①調査整備会議の運営				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-③	関連根拠法令	文化財保護法

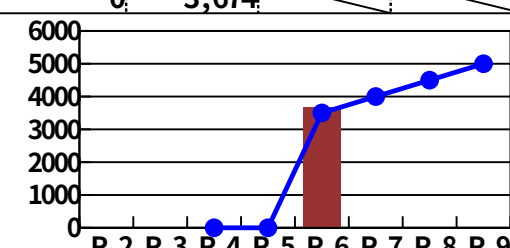
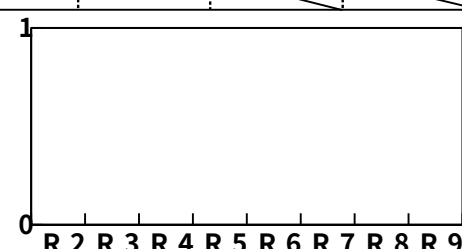
【事業の目的】

対象（何を）	石清尾山古墳群
意図（どのような状態にしたいか）	国史跡に指定されている積石塚を適切に保存するため、範囲や構造を把握し、より適切に古墳を保存・活用する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 調査古墳数（累計）	箇所	0	0	0	5	5
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8			
	見学者数（累計）		人	目標値	0	0	3,500	4,000	4,500			
				実績値	0	0	3,674					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
	パンフレットの配布等を通じて多くの市民に古墳群に興味を持ってもらうとともに、市政出前ふれあいトークや学校教育活動の一環として古墳群の解説を行うことで、目標値に達する見学者を得た。		(目標達成度)	105.0%								
(得点)			35点									
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8			
				目標値								
				実績値								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
			(目標達成度)									
(得点)												

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	60,472	82,749	56,875	7,822	
	(事業費)	[千円]	52,988	75,222	49,155	102
	(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	7,720	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	①調査整備会議の運営 ②鶴尾神社4号墳崖面補強工事※R5→6繰越	①22千円 ②49,133千円 ※92,426千円(R6→7繰越、国補正に伴う前倒し3月補正)	総額	49,155	
			特定財源	国	19,764
				県	4,622
				市債	14,700
				他	0
			一般財源	10,069	
令和 7 年度	①調査整備会議の運営	①102千円	総額	102	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	102	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
見学者数については目標値を上回ったことから、今後とも効果的な情報発信を行っていく。 「史跡石清尾山古墳群保存活用計画」を令和6年3月に策定しており、今後同計画に基づき保存と活用を図っていく。 なお、鶴尾神社4号墳崖面補強工事については、国の補正予算に伴い、3月補正予算として計上したため、7年度に繰越して実施する。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
「史跡石清尾山古墳群保存活用計画」を基に史跡を確実に保存するとともに、古墳群の見学会や観光部門と連携した古墳群見学ツアーを実施するなどして、市内はもとより県内外に情報発信を行い、古墳群の文化財的価値を周知する。 鶴尾神社4号墳保存対策事業については、これまでと同様に専門家の意見を踏まえ、地元の理解を得ながら実施する。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-2714
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	埋蔵文化財公開活用事業			

【事業全体概要】

事業概要	埋蔵文化財調査等によって明らかになった本市の歴史を広く知っていただくことが目的である。市内の埋蔵文化財等を題材とした講演会や発掘調査の現地説明会の実施、パンフレット等の充実、情報発信を行う。令和 6年度は連載講座として、市内の文化財を題材とした講演会を複数回開催するとともにその成果を冊子として刊行した。				
年度概要	Webコンテンツ パンフレット 解説パネル				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	文化財保護法

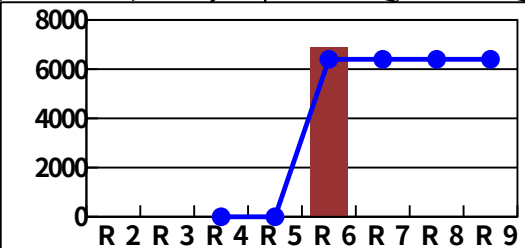
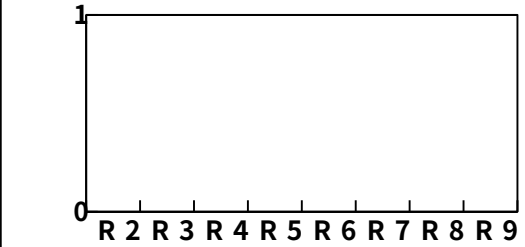
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市内の埋蔵文化財調査等によって得られた本市の歴史に関する市民の知識及び教養の向上につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	埋蔵文化財公開活用事業関連行事開催回数	回	0	0	40	50	50
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数		人	目標値	0	0	6,400	6,400	6,400	
				実績値	0	0	6,872			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	行事開催回数は目標値を下回ったものの、行事参加者数は上回った。新型コロナウイルスの影響の減少や観光機運の高まりが背景として考えられる。		(目標達成度) 107.4%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

		単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
	トータルコスト	[千円]	9,393	12,328	9,986	9,853
	(事業費)	[千円]	1,909	4,801	2,266	2,133
	(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	7,720	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	連載講座・We bコンテンツ シンポジウム パンフレット	連載講座・We bコンテンツ 2,063千円 ガイダンス看板設置55千円 パンフレット148千円	総額	2,266	
			特定財源	国	1,000
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,266	
令和 7 年度	We bコンテンツ パンフレット 解説パネル	We bコンテンツ 1,335千円 パンフレット83千円 解説パネル715千円	総額	2,133	
			特定財源	国	1,000
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,133	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
昨年度は連載講座等、室内の講座を充実して実施した。一方で、屋外における文化財の現地見学会を実施できるよう検討する必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
今後も、香川県や関係市町と連携しながら、効果的なPRを実施し、イベント等への新たな参加者の誘引に努めるとともに、ICT等の活用により活用機会を広げるための体制整備を検討していく。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	香南歴史民俗郷土館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という館の立地をいかして、高松平野南部地域の歴史民俗資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示及び講座等の教育活動を実施する。				
年度概要	企画展等	12展程度			
	教育普及事業等	32回程度			
	その他事業	31回程度			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

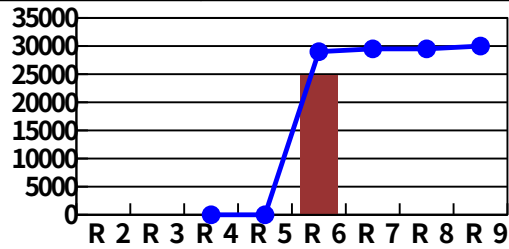
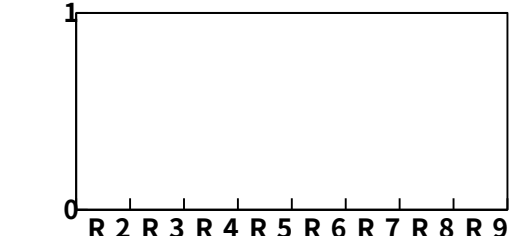
【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	多くの市民が施設を利用することにより、郷土の歴史、民俗等に関する市民の知識の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	資料館主催（共催）事業数	件	0	0	75	75	75
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	香南歴史民俗郷土館の利用者数	人	目標値	0	0	29,000	29,500	29,500
			実績値	0	0	24,775		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	展示内容の充実、積極的な広報活動に努めたが、夏場の猛暑の影響と、空調機器が故障したことから積極的な誘客広報イベントの募集規模を抑えたことによるものと考えられ、目標値を下回った。		(目標達成度) 85.4% (得点) 30点					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	14,909	23,282	25,200	26,173
	(事業費)	14,909	15,755	17,480	18,453
	(職員人件費)	0	7,527	7,720	7,720

項目	事業内容		積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	企画展等 教育普及事業等 その他事業	1 2 展 3 5 回 2 8 回	任用職員給料等 10,008千円 施設管理費 4,971千円 事業運営費 2,386千円 城山顕彰会補助金115千円	総額	17,480	
				特定財源	国	0
					県	0
					市債	0
					他	315
				一般財源	17,165	
令和 7 年度	企画展等 教育普及事業等 その他事業	1 2 展程度 3 2 回程度 3 1 回程度	任用職員給料等 10,272千円 施設管理費 7,118千円 事業運営費 948千円 城山顕彰会補助金115千円	総額	18,453	
				特定財源	国	0
					県	0
					市債	0
					他	435
				一般財源	18,018	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	84 / 100 (84%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
前年度と比べて利用者数は約14%減少し、目標より下回った。今後、目標数を伸ばすため（展示等の実施、展示内容及び資料の充実、積極的な広報等）及び老朽化した設備の整備・更新が課題である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
高松市南部の文化施設である地の利をいかした内容の企画展や講座を開催するとともに、地元文化団体との連携を図り、地域に根ざした館運営を行うことで、利用者数の増加に努める。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を周知するため、展示及び教育普及活動を実施する。				
年度概要	企画展等 4回程度 教育普及事業等 50回程度				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	多くの市民が施設を利用することにより、特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的重要性が広く認識され、文化財の保存及び活用の促進につながるとともに、歴史に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	資料館主催（共催）事業数	件	0	0	54	61	61
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	讃岐国分寺跡資料館の利用者数	人	目標値	0	0	23,000	23,100	23,200
			実績値	0	0	24,081		
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	展示内容の充実、積極的な広報活動に努めた結果、目標値を上回る成果をあげた。	(目標達成度)		104.7%				
		(得点)		35点				
成果指標③	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標④	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
		(得点)						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-845-8484
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	石の民俗資料館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	石と人間の関わりの文化を観点に資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示・体験学習などの教育活動を実施する。				
年度概要	企画展	5展程度			
	ホール展等	8展程度			
	教育普及事業等	37回程度			
	コンサート等	2回程度			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

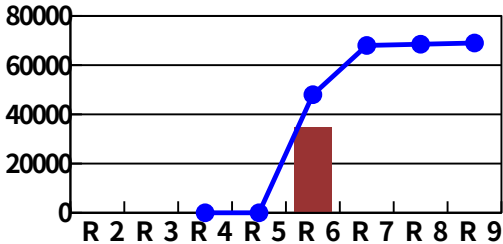
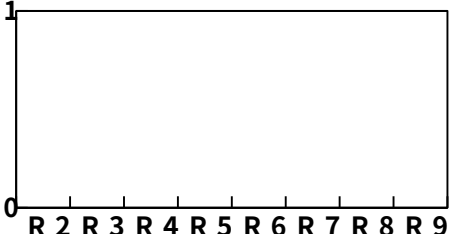
【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	多くの市民が施設を利用することにより、石と人間との関わりの文化史を通して歴史、民俗等に関する市民の知識の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	資料館主催（共催）事業数	件	0	0	28	52	52
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	石の民俗資料館の利用者数	人	目標値	0	0	48,000	68,000	68,500
			実績値	0	0	34,641		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和 6 年度は改修工事に伴う臨時休館（10月16日～3月30日）による利用人数への影響が見込みより大きかったことから、目標値を下回った。		(目標達成度) 72.2%					
成果指標②	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	40,815	58,977	110,532	64,424
	(事業費)	25,847	43,923	95,092	48,984
	(職員人件費)	14,968	15,054	15,440	15,440

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	企画展 1展 ホール展等 5展 教育普及事業等 20回 コンサート等 2回 10月16日～3月30日まで臨時休館	任用職員報酬等 16,133千円 施設管理費 78,254千円 事業運営費 705千円	総額	95,092	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	60,600
				他	6,721
			一般財源	27,771	
令和 7 年度	企画展 5展程度 ホール展等 8展程度 教育普及事業等 37回程度 コンサート等 2回程度	任用職員報酬等 19,078千円 施設管理費 28,149千円 事業運営費 1,757千円	総額	48,984	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	16,200
				他	1,241
			一般財源	31,543	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	B	総合点 (率)	76 / 100 (76%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
改修工事に伴う臨時休館の影響が大きく、利用者数が伸び悩んだことから、今後は展示内容の充実、積極的な広報など、利用者数の増加に向けた取組を積極的に行う必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
館の主旨である石と人間との関わりとの文化に関する企画展を通して、広く情報発信するとともに、地元文化団体との連携を図り企画展を開催するなど、地域に根差した館運営を行いつつ、利用者数の増加に努める。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	歴史資料館教育普及活動事業			

【事業全体概要】

事業概要	郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められるような教育普及事業を実施する。				
年度概要	サンクリスタル学習代替プログラム 古文書講座				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

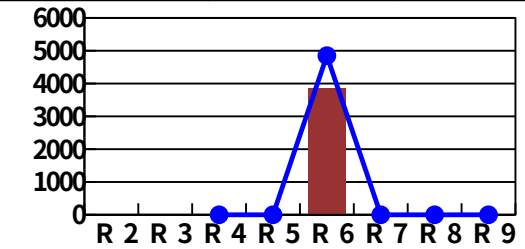
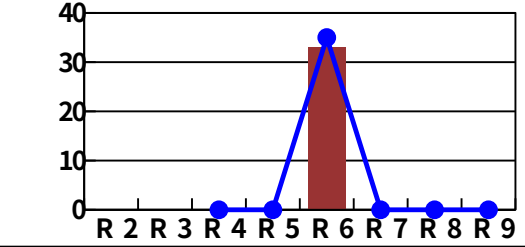
【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	参加者の郷土史及び文化並びに歴史資料への興味関心を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	教育普及事業の開催回数	回	0	0	111	0	0
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	教育普及活動の受講者数	人	目標値	0	0	4,850	0	0
			実績値	0	0	3,863		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	校外学習の参加校数の減少に伴い参加人数も減少し、目標値をやや下回った。		(目標達成度) 79.6% (得点) 28点					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	サンクリスタル学習参加校数	校	目標値	0	0	35	0	0
			実績値	0	0	33		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	事前周知でサンクリスタル学習の必要性及び有益性を説明するとともに積極的な参加を促したが、各校の都合等もあり目標値を僅かに下回った。		(目標達成度) 94.3% (得点) 33点					

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-839-2660
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	玉藻公園整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	「高松市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に修繕等を行うことにより、持続的に安全で安心して利用できる都市公園づくりを図る。				
年度概要	①玉藻公園照明灯改修工事監理業務委託 ②玉藻公園二の丸照明灯改修実施設計業務委託 ③玉藻公園照明灯改修工事				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	都市公園法

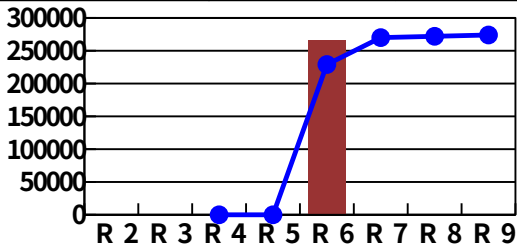
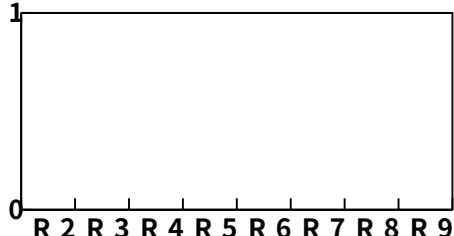
【事業の目的】

対象（何を）	玉藻公園
意図（どのような状態にしたいか）	公園施設の安全性を確保し、長寿命化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①施設修繕等件数		件	0	0	12	13	14
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	玉藻公園の年間入園者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	229,000 266,025	270,000	272,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和 6 年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、目標値を上回る結果となった。			(目標達成度) 116.2%				
				(得点) 35点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-823-2714
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高松城跡整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	史跡高松城跡保存活用計画に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理に努める。天守の復元に向けて資料調査を行い、復元整備に向けた取組を行う。				
年度概要	①披雲閣耐震補強工事 ②仮設ヤード撤去工事 ③松平家近代資料調査 ④天守基礎調査 ⑤活用事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-⑥	関連根拠法令	文化財保護法

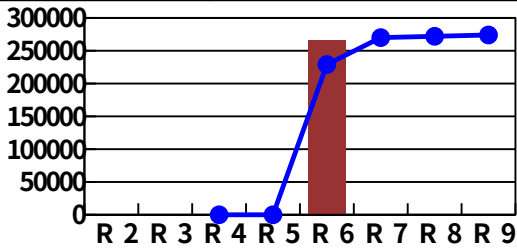
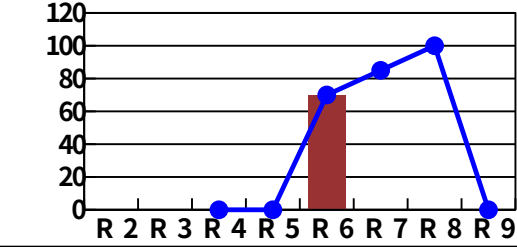
【事業の目的】

対象（何を）	市民・観光客、整備対象文化財
意図（どのような状態にしたいか）	貴重な文化財である高松城跡において、石垣や櫓の保存修理や建造物の復元整備を行い、史跡高松城跡の価値を顕在化するとともに、来場者数の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 史跡高松城跡の保存修理・復元箇所数		箇所	0	0	3	3	3
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	玉藻公園の年間入園者数	人	目標値	0	0	229,000	270,000	272,000
			実績値	0	0	266,025		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和 6 年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、目標値の 116%と計画を上回る結果となった。		(目標達成度) 116.2%					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	披雲閣（大書院）耐震補強工事の進捗率	%	目標値	0	0	70	85	100
			実績値	0	0	70		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	施工中の披雲閣（大書院）耐震補強工事について、一部繰越したが、ほぼ計画どおり工程を進めた。		(目標達成度) 100.0%					

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	文化財課
	施策	文化芸術の創造と継承		電話番号	087-861-4520
	取組方針	文化財の保存と活用		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	歴史資料館常設展事業			

【事業全体概要】

事業概要	企画展・収蔵品展・ロビー展の開催 高松の歴史や文化に関わる資料の収集・保存 収蔵資料の整理調査と収蔵品システムへの登録・公開 ボランティア団体との連携によるサービスの充実				
年度概要	出張パネル展示等 3展程度 常設展展示資料入替 資料の購入等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	博物館法

【事業の目的】

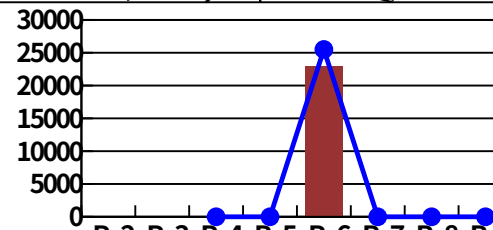
対象（何を）	小学生以上の一般市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市の歴史や文化を学ぶ施設として郷土の文化遺産を継承し、調査の成果や情報を発信することにより、本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

【事業の活動】

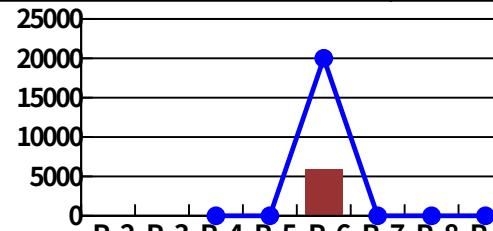
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	展覧会開催本数	本	0	0	10	0	0
②	収蔵品システム登録資料数	点	0	0	57,509	450	500

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
展覧会観覧者数				人	目標値	0	0	25,500	0	0
					実績値	0	0	22,862		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
展示内容の充実、積極的な広報活動に努めたが、目標値を下回った。					(目標達成度)					
					(得点)					
					89.7%					
					31点					

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
収蔵品システムHPアクセス数				回	目標値	0	0	20,000	0	0
					実績値	0	0	5,928		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
収蔵品システムへの資料登録を進め、掲載データの内容充実に努めたが、目標値を下回った。					(目標達成度)					
					(得点)					
					29.6%					
					10点					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	13,318	11,712	11,535	10,227	
	(事業費)	[千円]	5,834	4,185	3,815	2,507
	(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	7,720	7,720

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	企画展等 4展 ロビー展等 6展 常設展展示資料入替 資料の購入等	企画展等関連費 1,972千円 資料整備費 1,843千円	総額	3,815	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	891
			一般財源	2,924	
令和 7 年度	出張パネル展示等 3展程度 常設展展示資料入替 資料の購入等	企画展等関連費 430千円 資料整備費 2,077千円	総額	2,507	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	31
			一般財源	2,476	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	65 / 100 (65%)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
観覧者数については、目標値をやや下回ったものの、前年度と比べ増加しており、着実にコロナ禍の影響を脱して、施策に貢献できている。 収蔵品システムのアクセス数についても、前年度比で増加しているものの、目標値とは大きな差があり、より一層、内容の充実とともに、システムの利便性について周知を行う必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
今後、計画しているサンクリスタル高松の改修工事において、利便性の高い施設で、より効果的な事業ができるようリニューアルの実施に取り組むものとする。						